



「アートと文化が誰にも近い街」を目指し、「アートと生活」をテーマとして、芸術や文化に親しんで頂くきっかけを提供する芸術文化講座。各分野の専門家が、アートがはじめての方々にやさしく語りかけます。2022年6月(第30回)は「里山の自然を漉きこむ、手漉き和紙づくり講座」です。手漉き和紙作家のロギール・アウテンボーガルトさんをお迎えし、実演して頂きます。

< 2022年6月(第30回) >

里山の自然を漉きこむ、手漉き和紙づくり講座

和紙を光に透かすと見える繊維には、どんな人も感動させる自然な美しさがあります。それは和紙が、人と自然がうまく共生するためのメッセージを持っているからです。この講座ではそんなメッセージがたっぷり詰まったオリジナルの和紙作品を作ります。高知県産の原料で紙を漉いて、草花を漉きこみ、土入りの色原料で模様をつけます。叩く・混ぜる・漉くなどの伝統的な工程を通して、日本文化と自然の関わりを学びます。

日 時： 2022年6月15日(水) 18:30～20:00

会 場： 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
「オンライン講座」としてYouTubeにて配信します。

参加料： 無料

申込方法： Peatix (<https://peatix.com/event/3245263>)

右上のリンクボタン(またはQRコード)よりお申し込みください。

▶ お申し込み(Peatix)



※今後の状況により、延期・中止をさせて頂く場合もございますので、あらかじめご承知置ください。

< 講師 >



ロギール・アウテンボーガルト 氏 (手漉き和紙作家)

1980年にオランダから来日、全国の手漉き和紙工房をめぐる。翌年高知県に定住し、原料栽培からの伝統手漉き和紙の製作を始める。2003年からはヨーロッパの手漉き紙・コットンペーパーも取り入れて、東西の伝統紙漉きのノウハウを活かした手漉き紙の新しい表現に挑戦している。平成19年度の土佐の匠に認定。2010年度博報賞受賞。紙漉きを里山ごと体験するゲストハウス「和紙スタジオかみこや」代表。